

講義シラバス

科目名	就職講座Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	大谷 奈津美	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校第10期生。卒業後、(株)札幌丸井三越のクリスチャン ティオールにて化粧品の販売経験を積む。退職後、講師として母校に戻り現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
将来のなりたいビジョンを明確にし、目標に向かって自ら考え行動し早期内定に繋げる。 社会人・企業に勤める者としての、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける									
【学習内容】									
社会人のしくみやマナーについて理解し、対応力を身につける。 接客業としての考え方を身につけ、美容業界に従事する者として準備する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、メモ帳など。					特になし				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4 / 21)	【到達目標】 会社の雇用形態、各種保険について学び働くことを学ぶ。 雇用形態の特徴を学び、説明できるようになる。 各種保険について理解し、説明できるようになる クラスリーダー、運動会リーダー				⑨ (6 / 23)	【到達目標】 電話対応・伝言メモについて お客様、本社からの電話対応について学び、実践できるようになる 電話対応の心構えについて身につける			
② (4 / 28)	【到達目標】 給与の仕組みを知り、給与明細の見方を知る 今後支払うべき税金について理解し、説明できるようになる 賞与についても学び、働くことを理解する				⑩ (6 / 30)	【到達目標】 クレーム対応について お客様の心理を読みとり、解決への道のりを理解する			
③ (5 / 12)	【到達目標】 社会人としての諸対応を学ぶ 祖対応を理解し、実践できるようになる				⑪ (7 / 7)	【到達目標】 季節の書状について理解を深め、常識を知り、説明できるようになる 書中見舞い、残暑見舞い、年賀状、寒中見舞い、季節の挨拶を理解しはがきの書き方を説明できるようになる。内定先企業、またはお世話になっている先生へ書中見舞いを送る			
④ (5 / 19)	【到達目標】 オンライン授業 ビジネスの基本について、 ビジネス文書作成、上司、先輩と付き合い方について学び、実践できようになる				⑫ (7 / 14)	【到達目標】 現在の就職活動状況について 内定者・未内定者別実施予定。			
⑤ (5 / 26)	【到達目標】 冠婚葬祭のマナーを理解し社会人としての対応を説明できるようになる 冠婚葬祭マナーを身につけ、列席する際の常識など、スマートな立ち振る舞いができるようになる ※運動会最終確認				⑬ (7 / 21)	【到達目標】 オンライン授業 感染症、消毒法について学ぶ。 仕事をすることによって衛生面で気を付けなければならないことを学び理解する			
⑥ (6 / 2)	【到達目標】 知っておくべき自分磨き講座～美白を保つためには正しいスキンケアについて学び、実践できるようになる				⑭ (8 / 25)	【到達目標】 組織の役割について 社内の組織図について理解する			
⑦ (6 / 9)	【到達目標】 売り上げについて計画し仕事をする 売り上げ達成に向けた業務遂行について理解する				⑮ (9 / 8)	【定期試験】50 前期で身につけた知識の確認 社会人としての常識を持ち合わせているか			
⑧ (6 / 16)	【到達目標】 領収書・クレジットカードについて 仕組みについて学び、説明できるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
メモを取り、実践すること									

講義シラバス

科目名	PCワークⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	玉村 彩加枝	講師 プロフィール	短大を卒業後、コンピューターメーカーにインストラクターとして就職。ショールームでの接客対応やパソコン、ワープロの講師を経て、現在は主にWord、Excel、PowerPointの講師をしています。ビジネスマナーを加味したITリテラシー、Officeの検定対策授業を担当できます。						
【授業を通じての到達目標】									
ビジネスメールのマナーやルールを学び、お客様や取引先とメールの送受信ができるようになる。社会人として必要なパソコンの基礎知識および実務で役に立つ知識や機能を習得する。説得力のある資料の作成およびプレゼンテーションができるようになる。									
【学習内容】									
ビジネスメールのマナーやルールを学び、シーンによって使い分ける。ビジネス文書作成(送付状・お礼状等)、請求書、見積書、データベース、プレゼン資料作成及びプレゼンテーション技術									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
オリジナルテキスト(iPadにて表示)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16) 10:55	【到達目標】 学内PCのログインができるようになる。共有ネットワークを活用できるようになる。アドレス帳への登録、署名の作成ができるようになる。ビジネスメールの形式を覚え、丁寧なメールが書けるようになる。 小テスト:3点				⑨ (6/25) 10:55	【到達目標】 受発注の書類の流れを理解し、請求書や納品書が作成できるようになる。顧客台帳をタックシールのあて名印刷等に活用できるようになる。 小テスト:4点			
② (4/23) 10:55	【到達目標】 カナ、英字、数字が混在した文字列をスムーズに入力することができる。タッチタイピングができるようになる。5分間で100文字入力できるようになる。 小テスト:3点				⑩ (7/2) 10:55	【到達目標】 PowerPoint等のプレゼン資料(スライド)作成アプリの基本的な操作ができるようになる。発表会場の大きさや聞き手に合わせて、読みやすい文字を選び、スライドの作成ができるようになる。 小テスト:4点			
③ (5/7) 10:55	【到達目標】 宛先・CC・BCCの違いを理解し、使い分けができるようになる。ビジネスメールのルールを守り、メールの送信や返信ができるようになる。シーンに合ったメールの作成ができるようになる。 →(就活のお礼メール、顧客宛、上司宛、クレーム対応) 小テスト:3点				⑪ (7/9) 10:55	【到達目標】 テーマに合った見やすいスライドを作成できるようになる。文章を簡潔にまとめ、箇条書きや図式化できるようになる。内容に合ったテーマカラーを選択することができるようになる。 小テスト:4点			
④ (5/14) 10:55 *オンライン	【到達目標】 データの容量やネット通信の容量について理解する。用途に適した容量のファイルをメールに添付できるようになる。詐欺メールの見分け方や対策方法を知る。 小テスト:3点				⑫ (7/16) 10:55	【到達目標】 見やすくわかりやすいスライドを作成できるようになる。(フォント、箇条書き、図式化、色)様々なデバイスで閲覧するためにPDFファイルに変換できるようになる。 小テスト:4点			
⑤ (5/21) 10:55	【到達目標】 Word等の文書作成アプリの基本的な操作ができるようになる。一般的なビジネス文書の形式や配置に整えることができるようになる。送付状が作成できるようになる。 小テスト:3点				⑬ (8/27) 10:55 *オンライン	【到達目標】 コンピュータリテラシーを理解し、正しく情報収集できるようになる。ネットワーク上の著作権等のルールを理解する。発表技術を磨き、説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 小テスト:4点			
⑥ (5/28) 10:55	【到達目標】 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。各機能を学び、効率よく文書作成ができるようになる。 小テスト:3点				⑭ (9/3) 10:55	【到達目標】 テーマに合ったプレゼンテーション資料(スライド)を作成することができる。発表会場や聞き手に合わせて資料を作成し、発表することができるようになる。聞き手の態度から感情が読み解き、発表に反映できるようになる。 小テスト:4点			
⑦ (6/11) 10:55	【到達目標】 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。各機能を学び、効率よく文書作成ができるようになる。文書ファイルをPDF形式のファイルに変換できるようになる。 小テスト:4点				⑮ (9/10) 10:55	【定期試験】50 ビジネス文書を作成する。プレゼンテーション資料を作成する。状況設定に応じたメールを作成し送信する。			
⑧ (6/18) 10:55	【到達目標】 Excel等の表計算アプリの基本的な操作ができるようになる。ビジネスでよく使われる計算式の作成ができるようになる。前年度比や構成比等を求め、データ分析ができるようになる。 小テスト:4点				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト(忘れ物・授業態度)50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻の管理と指導 忘れ物、授業態度の指導 パソコン操作に必要なID、パスワードの管理									

講義シラバス

科目名	PCワークⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	NL・ES・FA	学年	2年生		
講師名	玉村 彩加枝	講師 プロフィール	短大を卒業後、コンピューターメーカーにインストラクターとして就職。 ショールームでの接客対応やパソコン、ワープロの講師を経て、現在は主にWord、 Excel、PowerPointの講師をしています。 ビジネスマナーを加味したITリテラシー、Officeの検定対策授業を担当できます。						

【授業を通じての到達目標】

ビジネスメールのマナーやルールを学び、お客様や取引先とメールの送受信ができるようになる。
社会人として必要なパソコンの基礎知識および実務で役に立つ知識や機能を習得する。
ネットリテラシーを学び、正しく情報発信できるようになる。

【学習内容】

ビジネスメールのマナーやルールを学び、シーンによって使い分ける。
ビジネス文書作成(送付状・お礼状等)、請求書、見積書・データベース機能
ブログの開設

【使用教科書・教材・参考図書】

オリジナルテキスト(iPadにて表示)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/16) 9:15	【到達目標】 学内PCのログインができるようになる。共有ネットワークを活用できるようになる。 アドレス帳への登録、署名の作成ができるようになる。 ビジネスメールの形式を覚え、丁寧なメールが書けるようになる。 小テスト:3点	⑨ (6/25) 9:15	【到達目標】 受発注の書類の流れを理解し、請求書や納品書が作成できるようになる。 顧客台帳をタックシールのあて名印刷等に活用できるようになる。 小テスト:4点
② (4/23) 9:15	【到達目標】 カナ、英字、数字が混在した文字列をスムーズに入力することができる。 タッチタイピングができるようになる。 5分間で100文字入力できるようになる。 小テスト:3点	⑩ (7/2) 9:15	【到達目標】 テーマを決め、ブログを開設する。 IDとパスワードの管理ができるようになる。 ブログに掲載する画像について学び、リサイズできるようになる。(アプリ) 小テスト:4点
③ (5/7) 9:15	【到達目標】 宛先・CC・BCCの違いを理解し、使い分けができるようになる。 ビジネスメールのルールを守り、メールの送信や返信ができるようになる。 シーンに合ったメールの作成ができるようになる。 →(就活のお礼メール、顧客宛、上司宛、クレーム対応) 小テスト:3点	⑪ (7/9) 9:15	【到達目標】 ブログを管理し、詳細な設定ができるようになる。 ブログに掲載する画像について学び、リサイズできるようになる。 画像のEXIF情報について理解し、用途に応じて削除できるようになる。 小テスト:4点
④ (5/14) 9:15 *オンライン	【到達目標】 データの容量やネット通信の容量について理解する。 用途に適した容量のファイルをメールに添付できるようになる。 詐欺メールの見分け方や対策方法を知る。 小テスト:3点	⑫ (7/16) 9:15	【到達目標】 ブログに掲載する画像に代替テキスト(alt属性)を設定するメリットを理解する。 画像に代替テキスト(alt属性)を設定できるようになる。 小テスト:4点
⑤ (5/21) 9:15	【到達目標】 Word等の文書作成アプリの基本的な操作ができるようになる。 一般的なビジネス文書の形式や配置に整えることができるようになる。 送付状が作成できるようになる。 小テスト:3点	⑬ (8/27) 9:15 *オンライン	【到達目標】 コンピューターリテラシーを理解し、正しく情報収集できるようになる。 ネットワーク上の著作権・肖像権等のルールを理解する。 小テスト:4点
⑥ (5/28) 9:15	【到達目標】 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。 各機能を学び、効率よく文書作成ができるようになる。 お客様宛てのお知らせはがきの作成ができるようになる。 小テスト:3点	⑭ (9/3) 9:15	【到達目標】 テーマに合ったブログ記事を書けるようになる。 ブログに適した容量の画像を挿入できるようになる。 画像に代替テキスト(alt属性)を設定できるようになる。 小テスト:4点
⑦ (6/11) 9:15	【到達目標】 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。 視認性の高いポップやチラシの作成ができるようになる。 文書ファイルをPDF形式のファイルに変換できるようになる。 小テスト:4点	⑮ (9/10) 9:15	【定期試験】50 ビジネス文書を作成する。 ブログの記事を書く 状況設定に応じたメールを作成し送信する。
⑧ (6/18) 9:15	【到達目標】 Excel等の表計算アプリの基本的な操作ができるようになる。 ビジネスでよく使われる計算式の作成ができるようになる。 前年度比や構成比等を求め、データ分析ができるようになる。 小テスト:4点	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト(忘れ物・授業態度)50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】 授業出席、遅刻の管理と指導 忘れ物、授業態度の指導 パソコン操作に必要なID、パスワードの管理			

講義シラバス

科目名	美スタイル塾	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	当瀬あさ子	講師 プロフィール	全国344店舗展開 株式会社GENKIDO 北海道東北エリアマネージャー/テクニカルマネージャー 美容と健康のトータルビューティサロンFagin Raxiaの運営・整骨院運営管理 アロマエステ、フェイシャル、ボディメイク、リラクゼーション、整骨院では自費メニューの整体、テクニカル指導及び運営マネジメントをしております。						
【授業を通じての到達目標】									
美スタイルについての正しい知識を身につけ、自分自身のボディメイクを習得しキレイを目指す									
【学習内容】									
人間が生きていく上で必要な 食事、運動、呼吸、精神活動のバランスを学び、心と体を健康にキレイになっていくことを授業を通じて習得。正しいカラダの使い方から姿勢評価、エクササイズを通じてセルフ管理できることを目指す。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
タオル・靴・フェイスガード、運動時はマット、ストレッチポール、使用参考プリントは都度配布致します。					定期的な課題、予習・復習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/19)	美スタイル塾 体幹トレーニングでセルフトレーニングができるようになる				⑨ (6/21)	小顔矯正 お顔のツボ押しテクニックを習得する			
② (4/26)	【到達目標】 「動き」の基本。カラダについての、使い方や動かし方のルールと自然法則を習得する				⑩ (6/28)	【到達目標】 すくめ肩(いかり肩)・なで肩の修正エクササイズができるようになる			
③ (5/10)	【到達目標】 理想的な座位姿勢と不良座位姿勢を知り、美スタイルの姿勢を手に入れる				⑪ (7/5)	【到達目標】 O脚・X脚 修正するエクササイズができるようになる			
④ (5/17)	【到達目標】 オンライン 姿勢改善エクササイズで背盤ストレッチができるようになる				⑫ (7/12)	【到達目標】 背盤の高さの違いを修正するエクササイズができるようになる			
⑤ (5/24)	【到達目標】 姿勢改善エクササイズをセルフでできるようになる (60分1セット)				⑬ (7/19)	【到達目標】 オンライン セルフ姿勢改善ができるようになる			
⑥ (5/31)	【到達目標】 姿勢改善エクササイズをセルフでできるようになる (45分1セット)				⑭ (8/23)	【到達目標】 3S総括 美スタイルを習得する			
⑦ (6/7)	【到達目標】 栄養カロリー管理を習得し、食事レコーディングができるようになる				⑮ (9/6)	【定期試験】50 定期試験			
⑧ (6/14)	【到達目標】 必要摂取カロリーを知り、食事計画を立てられるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席態度、遅刻の厳重管理と指導、忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス

科目名	AEA上級筆記対策	必修 選択の別		開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	河合 静香	講師 プロフィール	看護師資格取得後、総合病院、クリニック等で勤務したのち、美容専門学校で解剖生理学、皮膚学、衛生管理、栄養学、筆記試験対策の講師を務める。						

【授業を通じての到達目標】

AEA上級認定エステティシャン筆記試験の合格を目標とした学習を通じて、実技で行うさまざまな手技や施術等についての総合的な知識をもち、根拠を理

【学習内容】

AEA上級認定エステティシャン筆記試験の問題集の演習を行う。

【使用教科書・教材・参考図書】

AEA認定エステティシャンテキスト/新エステティック学 理論編 I II III

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

試験例題集の予復習等の宿題あり

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/19)	【到達目標】 全15回の授業を通じて、どのように目標を達成するかを考え、計画を立てることができる。現時点での自分の理解度を把握し、今後どのように学習を進めていくかを具体的に言葉にすることができる。	⑨ (6/21)	【到達目標】 衛生管理(細菌、ウイルス、感染症の知識を得て、その予防法や消毒方法について理解し、問題を解くことができる。) 救急法(サロンで考えられるアクシデントについて知り、人工呼吸や胸骨圧迫などの救命の知識ややけどや鼻血などの傷病手当の方法についての知識を得て、正しい処置の方法が理解できる。)
② (4/26)	【到達目標】 解剖生理学(細胞、組織、器官、器官系について、エステに必要な骨の知識を得ることができる。) 皮膚学(表皮、真皮、皮下組織のそれぞれの特徴について理解できるようになる。)	⑩ (6/28)	【到達目標】 化粧品学(化粧品の成分やその特徴、作用や注意点についての知識を得て、問題を解くことができる。)
③ (5/10)	【到達目標】 解剖生理学(体、顔の主な筋肉の位置と名称を理解できる。神経系の分類や特徴を理解できる。) 皮膚学(皮膚の付属器官についての知識を得ることができる。皮膚の生理機能についての知識を得ることができる。)	⑪ (7/5)	【到達目標】 総復習(前期学習の範囲を復習し、自分の苦手分野を認識し、次週までに学習する内容を自分で決定することができる。) 模試(現時点での自分の力を知り、次週の目標点数を設定することができる。)
④ (5/17)	【到達目標】 解剖生理学(神経系の応用的な内容について理解できる。感覚器と神経系のつながりについて理解できる。) 皮膚学(美しい肌のために必要な条件が理解できる。肌タイプとそれぞれのタイプに応じたケアについて理解できる。)	⑫ (7/12)	【到達目標】 総復習(前期学習の範囲を復習し、自分の苦手分野を認識し、次週までに学習する内容を自分で決定することができる。) 模試(現時点での自分の力を知り、その結果をもとに夏休み中の学習計画の作成することができる。)
⑤ (5/24)	【到達目標】 解剖生理学(内分泌系に関わる器官名とその機能について理解できる。) 皮膚学(光老化と紫外線、シワやシミができる原因とケアについて理解できる。)	⑬ (8/23)	【到達目標】 模試(夏休み中の成果を出しきり、自分の目標とする点数を目指す。5割以上正答できる。)
⑥ (5/31)	【到達目標】 解剖生理学(呼吸器系の外呼吸、内呼吸の違いを理解できる。循環器系の心臓の解剖やどのように血液循環しているかを理解できる。) 皮膚学(トラブル肌と皮膚疾患について、敏感肌、ニキビについての知識を得ることができる。また主な皮膚疾患について、正常な肌との違いについて理解することができる。)	⑭ (8/31)	【到達目標】 模試(前回よりも多くの得点を出すことができる。6割以上正答できる。)
⑦ (6/7)	【到達目標】 解剖生理学(消化器系の解剖と働きについて知識を得ることができる。泌尿器系はどのようにして尿が生成されて排泄されるか、生殖系については月経の妊娠の仕組みについて理解できる。) 栄養学(栄養学の基礎知識を得ることができる。栄養素の種類と働きについて理解できる。)	⑮ (9/6)	【定期試験】50 これまでに学んだすべての内容を範囲とする。模試と同形式で出題する。半年間で学んだ成果を出し、自分の最高得点を出すことができる。
⑧ (6/14)	【到達目標】 運動生理学(栄養学(何をどう食べるか、をテーマに摂取エネルギー量や代謝について、食生活と健康の関係、食生活と体調についての知識を得ることができる。食品パワーの新しい可能性とその利用について、話題となっている機能性成分や健康食品について知識を得ることができる。)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

AEA問題集の予復習を毎週必ず実施すること。

講義シラバス

科目名	エステティック理論 ビューティーコンサル	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	山下 優	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校エステライセンスコース2011年卒業。市内ホテルのエステサロンにてエステティシャンとして勤務し、日本人だけではなく海外からのお客様も多く、エステ、ネイル、メイクと幅広く担当。その後、子供服を中心に扱うアパレル業界に販売員として勤務。現在は、市内エステサロンにてエステティシャンとして勤務。CIDESCOインターナショナルエステティシャン。						
【授業を通じての到達目標】									
エステティシャンとして必要な理論を身に付け、理論的なコンサルテーションシートの記入が出来るようになる。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・AEA協会テキストに沿った座学授業。 ・授業と結びけられるような実技理論を身に付け、コンサルテーションシートを記入する実践授業。 									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
<ul style="list-style-type: none"> ・AEA協会テキスト ・AEA上級認定エステティシャン実技試験用コンサルテーションシート 									
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/20)	シラバスの内容と授業の到達目標を理解する。				⑨ (6/22)	エステティック電気学・機器学(テキストNo.7)を理解する。 ★小テスト(5点)			
② (4/27)	ボディ実技理論(テキストNo.4)を理解する。				⑩ (6/29)	エステティック電気学・機器学に基づいた、フェイシャル・ボディコンサルテーションシートを記入出来るようになる。 ★小テスト(5点)			
③ (5/11)	ボディ実技理論(テキストNo.4)を理解する。 ★小テスト(5点)				⑪ (7/6)	エステティック関連法規(テキストNo.8)を理解する。 ★小テスト(5点)			
④ (5/18)	ボディ実技理論に基づいた、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。 ★小テスト(5点)				⑫ (7/13)	サロンでの救急法(テキストNo.9)を理解する。 ★小テスト(5点)			
⑤ (5/25)	フェイシャル実技理論(テキストNo.5)を理解する。				⑬ (7/20)	美容脱毛学(テキストNo.10)を理解する。 ★小テスト(5点)			
⑥ (6/1)	フェイシャル実技理論(テキストNo.5)を理解する。 ★小テスト(5点)				⑭ (8/24)	美容脱毛学に基づいた、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。 ★小テスト(5点)			
⑦ (6/8)	フェイシャル実技理論に基づいた、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。 ★小テスト(5点)				⑮ (9/7)	【定期試験】50 筆記試験(30点) コンサルテーションシート作成(20点)			
⑧ (6/15)	【到達目標】 エステティック電気学・機器学(テキストNo.7)を理解する。				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業態度、遅刻・欠席の厳重指導と管理									

講義シラバス

科目名	アロマトリートメント	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生			
講師名	棚村 弘恵	講師 プロフィール	エステサロンの実務を10年、エステ講師として18年教育に携わってきました。サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるよう努めていきたいと思っております。							
【授業を通じての到達目標】										
(公式)日本アロマ環境協会(AEAJ)のテキスト教材を使用して、自分自身の活用や周りの人を楽しませたり健康や美容のためなどアロマセラピーを理解して使いこなすことが出来るようになる										
【学習内容】										
香りを美容や健康に役立てるようになる。 自分の体調管理に役立てるようになる。 アロマセラピーを仕事に活かせるようになる。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
指定教材/筆記用具/シラバス										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① 4/20	アロマセラピーの基本 メカニズムを知り理解することが出来るようになる				⑨ 6/22	ペパーミント/ベルガモット精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				
② 4/27	精油の活用法/安全性を学び理解することが出来るようになる 精油を使用してトリートメント実践				⑩ 6/29	ユーカリ/ラベンダー精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				
③ 5/11	アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア① 精油の効果を理解し活用できるようになる				⑪ 7/6	レモン/レモングラス精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				
④ 5/18	アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア② 精油の効果を理解し活用できるようになる オンライン授業				⑫ 7/13	ローズマリー/ローマンカモミール精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				
⑤ 5/25	アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア③ 精油の効果を理解し活用できるようになる(実践)				⑬ 7/20	様々な精油の効果効能を理解して活用できるようになる オンライン授業(動画配信)				
⑥ 6/1	イランイラン/クラリセージ/グレープフルーツ精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				⑭ 8/24	効果効能を理解して目的に合わせた精油を選ぶことが出来るようになる(不調箇所などに合わせた精油を選ぶ) ※実践				
⑦ 6/8	ジュニパーベリー/スイートオレンジ/マジョラム精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				⑮ 9/7	【定期試験】60 効果効能を理解して目的に合わせた精油を選ぶことが出来るようになる(不調箇所などに合わせた精油を選ぶ) ※実践				
⑧ 6/15	ティートリー/フランキンセンス精油の効果効能を理解して活用できるようになる(実践)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法					

講義シラバス

科目名	ベルコン	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45	時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生			
講師名	棚村 弘恵	講師 プロフィール	エステサロンの実務を10年講師を18年携わってきました。サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を							
【授業を通じての到達目標】										
ベルエポックコンテストに向けて①プレゼンテーション力②技術力③接客力を身につける。①②③スキルアップを目指し目標を達成する										
①クライアントの状態を把握しお悩みに対してプランを提供する②考案したプランをプレゼンテーションする										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
筆記用具・指定教科書・シラバス・コンテスト対策専用のUSB・配布資料										
日時	授業計画				日時	授業計画				
①4/20	【到達目標】 (オリエンテーション)今後の予定確認/シラバス確認をして目標到達を確認する 8/31札幌予選 11/9本戦				⑨6/22	【到達目標】 プレゼンテーション作成 ①話の組み立て②本論③アドバイス④まとめ⑤質疑応答に沿った プレゼンテーションの組み立てを作成する				
	②4/27	【到達目標】 ①話の組み立て②本論③アドバイス④まとめ⑤質疑応答に沿った プレゼンテーションの組み立てを学び目標達成する オリジナルマッサージの考案				⑩6/29	【到達目標】 プレゼンテーション作成 ①話の組み立て②本論③アドバイス④まとめ⑤質疑応答に沿った プレゼンテーションの組み立てを作成する			
③5/11		【到達目標】 課題(冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善) のメカニズムを学び目標達成する① オリジナルマッサージの考案					⑪7/6	【到達目標】 プレゼンテーション発表 課題に沿ったマッサージを実践する		
	④5/18	【到達目標】 課題(冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善) のメカニズムを学び目標達成する② オンライン授業				⑫7/13		【到達目標】 プレゼンテーション発表(タイムを意識する) 課題に沿ったマッサージを実践する		
⑤5/25		【到達目標】 冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善を意識して オリジナルマッサージを考案、実践し目標達成する (マッサージの手順)					⑬7/20	【到達目標】 プレゼンテーション作成 ①話の組み立て②本論③アドバイス④まとめ⑤質疑応答に沿った プレゼンテーションの組み立てを作成する(再確認) オンライン授業		
	⑥6/1	【到達目標】 冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善を意識して オリジナルマッサージを考案、実践し目標達成する (マッサージの手順)				⑭8/24		【到達目標】 プレゼンテーション発表(タイムを意識する) 課題に沿ったマッサージを実践する		
⑦6/8		【到達目標】 冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善を意識して オリジナルマッサージを考案、実践し目標達成する (マッサージの手順)					⑮9/7	【定期試験】50 プレゼンテーション発表 課題に沿ったマッサージを実践する		
	⑧6/15	【到達目標】 冷え/むくみ解消・セルライト/脂肪改善を意識して オリジナルマッサージを考案、実践し目標達成する (マッサージの手順)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										

講義シラバス

科目名	店舗販売実習	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	小森郁子	講師 プロフィール	<small>(株)タリタリ入社後店長、マネージャー、ディレクターを経て、現在(株)entレナーとして社内の新人、中堅、店長、マネージャー研修担当としてOJTでのコーチングを行う。</small>						
【授業を通じての到達目標】									
アパレルの販売手法を習得する									
【学習内容】									
お客様購買心理8段階に沿った店舗運営、接客体験を実習とした集大成									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ファッションビジネス・ファッション販売・筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】 お店作りを人・物・器で考える力を習得する				⑨ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について学び、実践できるようになる			
② (/)	【到達目標】 お店作り、バイヤー体験				⑩ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について学び、実践できるようになる			
③ (/)	【到達目標】 お店作りを人・物・器で考える力を習得する				⑪ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通して今後の課題を発見し、レポートにまとめる。			
④ (/)	【到達目標】 お店作り、バイヤー体験				⑫ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通して今後の課題を発見し、レポートにまとめる。			
⑤ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通し、課題を見つけ、レポートにまとめることができるようになる				⑬ (/)	【到達目標】 社会人としてのアパレルの仕事の習得			
⑥ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通し、課題を見つけ、レポートにまとめることができるようになる				⑭ (/)	【到達目標】 社会人としてのアパレルの仕事の習得			
⑦ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について学び、実践できるようになる				⑮ (/)	【定期試験】50 筆記試験			
⑧ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について学び、実践できるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	トータルコーディネート	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	小森郁子	講師 プロフィール	<small>(株)タリタリ入社後店長、マネージャー、ディレクターを経て、現在(株)entレナーとして社内の新人、中堅、店長、マネージャー研修講師LOJTでのコーチングを行う。</small>						
【授業を通じての到達目標】									
トータルコーディネート提案ができる販売ロープレを習得しレベルコンを目指す。									
【学習内容】									
お客様購買心理の8段階を理解し店舗運営、売り場作り、接客販売の知識、技術を磨く。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ファッションビジネス・ファッション販売・筆記用具					接客販売・ファッションにおける課題抽出、情報収集				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 お客様購買心理の8段階の理解することができる				⑨ (6/25)	【到達目標】 顧客ができる販売員になるための知識を習得する			
② (4/23)	【到達目標】 MD/VMDについての考えを習得する				⑩ (7/2)	【到達目標】 顧客ができる販売員になるための知識を習得する			
③ (5/7)	【到達目標】 お客様購買心理に沿ったVMDでお店作りのイメージができる				⑪ (7/9)	【到達目標】 理想の販売員を目指す			
④ (5/14)	【到達目標】 お店作りの基本を学びプレゼンができるようになる				⑫ (7/16)	【到達目標】 理想の販売員を目指す			
⑤ (5/21)	【到達目標】 お客様に支持されるお店作りができるようになる				⑬ (8/27)	【到達目標】 顧客ができる販売員になる			
⑥ (5/28)	【到達目標】 お客様に支持されるお店作りができるようになる				⑭ (9/3)	【到達目標】 顧客ができる販売員になる			
⑦ (6/11)	【到達目標】 入店きっかけになるBODY作りができるようになる				⑮ (9/10)	【定期試験】50 ロールプレイングでお迎え入れ～お見送りまでの基本接客の習得			
⑧ (6/18)	【到達目標】 魅力あるBODY作りができる(コーディネート研究)				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	VMDショップランニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	阿部 弘(菊地 真樹子)	講師 プロフィール	●阿部 弘 2001年から色彩の専門家としてカラーコーディネートを指導。自身のアパレル専門店運営と会社経営のプロとして現在に至る。1級色彩コーディネーター。 ●菊地 真樹子 2000～2019 (株)リアライズ-オウにて空間デザイン、イベントプロデュースを担当。2019年11月独立しVMDをベースとした商業ディスプレイとイベント企画等を行う。1級商品装飾技能士						
【授業を通じての到達目標】									
VMDなどの店舗運営をする際の理論と技術を学び、かつ、11月実施のファッションビジネス検定の勉強によりアパレル業界全体の広い業務知識を得る。									
【学習内容】									
演習により店舗でディスプレイを体験し、座学により業界全体のことを知ったうえで、具体的にショップの調査・発表を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
テキスト ファッションビジネス[I] ファッションビジネス検定3級問題集									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る ファッションビジネス知識[1] 第1章 ファッションビジネスの概要 1.ファッションビジネスの定義と特性				⑨ (6/21)	【到達目標】マーチャンダイジングを理解する 第5章 ファッションマーチャンダイジング 1.マーチャンダイジング基礎知識(テキスト) ワーク:仮想店舗を作る 2.ショップのVMD計画をしてみよう！			
② (4/26)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る ファッションビジネス知識[1] 第1章 ファッションビジネスの概要 2.繊維ファッション産業の流れ				⑩ (6/28)	【到達目標】商品企画から販売までの流れを理解する 第5章 ファッションマーチャンダイジング 2.商品企画・生産・販売の流れ(テキスト) ワーク:仮想店舗を作る 3.商品企画・構成をしてみよう			
③ (5/10)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る(オンライン授業) 第2章 ファッション消費と消費者行動 1.消費者行動とファッション表現 2.ライフスタイルとファッション 3.お客様の購買行動				⑪ (7/5)	【到達目標】売場の構成を理解する 第5章 ファッションマーチャンダイジング 3.売場商品構成の基礎知識(テキスト) ワーク:仮想店舗を作る 4.売場の計画をしてみよう！			
④ (5/17) オンライン	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る <オンライン> 第3章 アパレル産業と小売産業 1.アパレル産業の概要				⑫ (7/12)	【到達目標】売場の構成を理解する 第5章 ファッションマーチャンダイジング 3.売場商品構成の基礎知識 ワーク:仮想店舗を作る 5.売り場を作ってみよう！			
⑤ (5/24)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第3章 アパレル産業と小売産業 2.ファッション小売産業の概要				⑬ (7/19) オンライン	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る(オンライン授業) 第6章ファッション流通			
⑥ (5/31)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第4章 ファッションマーケティング 1.マーケティングの基礎知識				⑭ (8/23)	【到達目標】ファッションマーチャンダイジングを体験する 第5章 ファッションマーチャンダイジング まとめ ワーク:実際の店舗を見てみよう！※課外授業			
⑦ (6/7)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第4章 ファッションマーケティング 2.マーケティング上の分類方法				⑮ (9/6)	【定期試験】5D 総復習 定期試験 第1章～第6章の範囲での模擬試験と解説			
⑧ (6/14)	【到達目標】マーチャンダイジングを理解する 第5章 ファッションマーチャンダイジング 1.マーチャンダイジング基礎知識(テキスト) ワーク:仮想店舗を作る 1.ショップのマーチャンダイジングをやってみよう！				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ジェルネイル	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	山本 麻美	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、ネイルサロンPRISM代表。 検定試験官の経験とコンテストでの優勝、上位入賞経験を生かし、15年以上に渡りネイリストの育成と教育に携わる。 ネイリスト歴21年。福祉ネイリスト資格を取得し福祉分野にも携わる。						
【授業を通じての到達目標】									
ジェルネイル検定中級合格レベルになる 変形フレンチが出来るようになる									
【学習内容】									
ジェルネイル検定中級合格レベル、変形フレンチが出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ジェルネイル教材一式、ビニール袋、キッチンペーパー、アルミホイル、コットン									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/22)	【到達目標】 ジェル検定 中級内容の説明、ジェルオフの説明、グラデ、フレンチ、オフの練習 《中級内容を把握しジェルネイルを正しく安全にオフする事が出来るようになる》				⑨ (6/24)	【到達目標】 中級タイムトライアル 《合格レベルを意識出来るようになる》			
② (5/6)	【到達目標】 プレパレーション、ジェルscalpの説明と練習 《ジェルscalpブーム装着～アプリケーション、ファイルの習得、理想の形を意識しながらアプリケーションが出来るようになる》				⑩ (7/1)	【到達目標】 中級タイムトライアル 《合格レベルにする・モチベーションのコントロールをトレーニング》			
③ (5/13)	【到達目標】 苦手部分を重点にアプリケーションの反復練習 フォームの角度、ブラシワーク、ピンチのタイミングなど 《苦手部分を把握しジェルscalpを理想の形に仕上げ苦手部分を克服出来るようになる》				⑪ (7/8)	【到達目標】 中級タイムトライアル 《合格レベルになる》			
④ (5/20)	【到達目標】 オンライン ジェルscalpの練習 《仕上がりのフォルムを意識出来るようになる》				⑫ (7/15)	【到達目標】 変形フレンチの説明と練習 《色々なフレンチについて学び習得》			
⑤ (5/27)	【到達目標】 グラデ、フレンチ、ジェルscalpの練習 《時間内に仕上げる為の工程を覚える》				⑬ (8/26)	【到達目標】 オンライン 変形フレンチの練習 《5本のバランスを考え綺麗に作れるようになる》			
⑥ (6/3)	【到達目標】 中級内容 オフ～手順、工程の練習 《オフからの流れを把握し時間を意識出来るようになる》				⑭ (9/2)	【到達目標】 ミラーパウダー、ギャラクシーを使っての練習 《ミラーパウダーのもちを良くする・マグネットを使って綺麗に出来るようになる》			
⑦ (6/10)	【到達目標】 中級タイムトライアル 《時間を意識し仕上げる事が出来るようになる》				⑮ (9/9)	【定期試験】 je			
⑧ (6/17)	【到達目標】 中級タイムトライアル 《フレンチの均等、スマイルライン、グラデの幅を揃えられるようになる》				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ネイル検定演習Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	演習	2年生		
講師名	大窪史子	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師 2011年ネイルアトリエmipccipをオープン、サロンワーク・ネイル技術指導のほか、コンテスト審査、検定審査、セミナー講師、ネイルエキスポやビューティワールドジャパンなどのネイルブースでの技術デモを行うなど、活動の幅を広げている						
【授業を通じての到達目標】									
トップレベルの総合プロネイリストとして通用するレベルのイクステンションを装着できるようになる。									
【学習内容】									
ネイリスト技能検定の実技課題であるイクステンションの構造と装着の手順を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ネイル教材一式、筆記用具、JNAテクニカルシステムベーシック、ノート					検定試験に向けた自主練習・筆記演習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 ナチュラルスカルプチュアの完成度を上げる。 硬化のタイミングを考慮しながら凹凸のない状態でピンチングを入れることができる。 ファイリング手順を細かく区切って練習し、完成度の高いイクステンションを完成させることができるようになる。				⑨ (6/22)	【到達目標】 アクリルによるサロンワークに即した長さだしの方法を学び、手早く装着できるようになる。 フレンチスカルプチュアの装着手順を学び、ホワイトミクスチュアを取り換えるようになる。			
② (4/27)	【到達目標】 トップオーバーレイの装着手順を学ぶ。 ミクスチュアの大きさや質をコントロールしながら、スムーズに装着することができるようになる。				⑩ (6/29)	【到達目標】 フレンチスカルプチュアのアプリケーション手順を理解し、スムーズにできるようになる。			
③ (5/11)	【到達目標】 時間内にナチュラルスカルプチュアとトップオーバーレイを数本揃えて仕上げるができるようになる。				⑪ (7/6)	【到達目標】 イクステンションのアートバリエーションを学び、デザインスカルプチュアを仕上げるができるようになる。			
④ (5/18)	【到達目標】 オンラインイクステンションの構造を学び、求める仕上がりに合わせて考えながら装着することができるようになる。 検定アートのデザインを決定し、時間内に仕上げるができるようになる。				⑫ (7/13)	【到達目標】 イクステンションのアートバリエーションを学び、フレンチベースのデザインスカルプチュアを仕上げるができるようになる。			
⑤ (5/25)	【到達目標】 アートを含む全実技工程の流れを確認し、スムーズに施術することができるようになる。				⑬ (7/20)	【到達目標】 オンラインターゲットの人物像やライフスタイルにあわせたイクステンションのデザインを考え、作品にすることができるようになる。			
⑥ (6/1)	【到達目標】 検定実技全工程を合格レベルの仕上がりにできるようになる。				⑭ (8/24)	【到達目標】 フレンチスカルプチュアの完成度を上げる。 アプリケーションの全ての工程を行い、ピンチングに間に合わせるができるようになる。			
⑦ (6/8)	【到達目標】 検定実技工程を通して練習し、完成度を上げる。 時間内に統一感のある仕上がりにすることができるようになる。				⑮ (9/7)	【定期試験】50 ターゲットの人物像やライフスタイルにあわせたイクステンションのデザインを考え、作品を制作する。			
⑧ (6/15)	【到達目標】 検定実技全工程を安定感のある施術で時間内に仕上げるができるようになる。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】 授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく。 施術の妨げとならないよう、顔にかかる髪はまとめる、とめる等、ヘアスタイルに留意する。					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	ネイルマシーン	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	演習	2年生		
講師名	森 結花	講師 プロフィール	2004年～2008年まで数店舗のネイルサロンでネイリスト、店長として勤務し専門学校などで講師を務める。 2008年～現在nailsalon“LierreNail”をオープンし経営。 サロンワーク、イベントでのネイルブース出店や、プロ向けのトレンドアートセミナー、スクールや専門学校での講師活動をし ベルエポックではジェルネイルや3Dアート、コンテストアートなどのアート系の授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
エアブラシやネイルマシーンなどの技術を学び、様々な技法でアート作品を作ることができるようになる									
【学習内容】									
ネイルマシーンでジェルオフやケアをし時短テクニックを身につけ、エアブラシでアート作品を作成する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
アート教材一式、チップスタンド、ハンド、ノート、筆記用具、各マシーン、iPad									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/22)	【到達目標】 【エアブラシ】 各種道具の使い方を覚えエアブラシの接続、ハンドピースの洗浄ができるようになる				⑨ (6/24)	【到達目標】 【エアブラシ】 奥行きや遠近感のある背景アートをエアブラシで作成することができるようになる 小テスト5点(空や宇宙などの背景アートを作成)			
② (5/6)	【到達目標】 【エアブラシ】 オペイク、トランスの特徴を理解し、セカンドカラーを活かしたグラデーションができるようになる 小テスト5点(チップにエアブラシでグラデーション、円、ラインを作成)				⑩ (7/1)	【到達目標】 【エアブラシ】 立体感のあるアイテムをエアブラシで作成することができるようになる 小テスト5点(グラデーションローズを作成)			
③ (5/13)	【到達目標】 【エアブラシ】 クルクルカッターを使用し上手にマスキングシートをカットすることができるようになる 小テスト5点(花びらのマスキングをカットし、ネガ・ポジアートを作成)				⑪ (7/8)	【到達目標】 【エアブラシ】 今まで習得したエアブラシの技法を使って作品が作れるようになる 小テスト5点(5枚1セットのアートチップを作成)			
④ (5/20)	【到達目標】 オンライン 【ジェル】 春夏にトレンドのニュアンスフラワーアートを作成することができるようになる (5枚1セットのアートチップを作成)				⑫ (7/15)	【到達目標】 【エアブラシ】 コンテストで使用できるように台紙に背景アートを作成できるようになる 小テスト5点(テーマを決めて台紙に背景アートを作成)			
⑤ (5/27)	【到達目標】 【ネイルマシーン】 マシンの仕組みやアタッチメントの種類を理解し、安全にマシーンを使用できるようになる 小テスト5点(ハンドを使用し1カラージェルネイルのオフを行う)				⑬ (8/26)	【到達目標】 オンライン 【ジェル】 夏にトレンドのぶくぶくフルーツネイルを作成することができるようになる (5枚1セットのアートチップを作成)			
⑥ (6/3)	【到達目標】 【ネイルマシーン】 マシーンを使用し、ストーンの付いたジェルネイルをリムーブすることができるようになる 小テスト5点(ハンドに付けたチップにビジュアートをし、ストーンネイルのオフを行う)				⑭ (9/2)	【到達目標】 【エアブラシ】 お客様にエアブラシアートを施術できるようになる (相モデルでグラデーションやチークネイルを施術する)			
⑦ (6/10)	【到達目標】 【ネイルマシーン】 マシーンを使用し、自分やお客様のジェルネイルをリムーブすることができるようになる 小テスト5点(マシーンとアセトンを使用し、相モデルでジェルネイルのオフを行う)				⑮ (9/9)	【定期試験】50 エアブラシで5枚1セットのアートチップを作成する			
⑧ (6/17)	【到達目標】 【ネイルマシーン】 マシーンを使用し、自分やお客様のネイルケアができるようになる 小テスト5点(マシーンを使用し、相モデルでネイルケアを行う)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・忘れ物をしない ・授業前までに道具の準備、テーブルセッティングを済ませておく									

講義シラバス

科目名	ベルコン	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	森 結花	講師 プロフィール	2004年～2008年まで数店舗のネイルサロンでネイリスト、店長として勤務し専門学校などで講師を務める。 2008年～現在nailsalon“LierreNail”をオープンし経営。 サロンワーク、イベントでのネイルブース出店や、プロ向けのトレンドアートセミナー、スクールや専門学校での講師活動をし ベルエポックではジェルネイルや3Dアート、コンテストアートなどのアート系の授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
様々なアートの技術や、デザインの組み立て方を学び、センスとプレゼン力を身につけ、コンテストで入賞を目指す作品を作ることができるようになる									
【学習内容】									
ジェルアート、3Dアート、最新トレンドアートなどの技術や、デザインの組み立て方を学び、テーマに沿った作品を作成する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
アート教材一式、チップ、チップスタンド、ハンド、ノート、筆記用具、色鉛筆、iPad					コンテスト前のアート練習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 コンテストの内容を理解し、様々なジェルブラシを使うことができるようになる (ダブルカラーの縦横グラデーション、ポイントブラシでフラワーアートが描けるようになる)				⑨ (6/21)	【到達目標】 コンテストで目を引く独創的な人物などのメインアートを描くことができるようになる 小テスト5点(人物やキャラクターのアートを作成)			
② (4/26)	【到達目標】 コンテストで使用頻度の高いトールペイントアートができるようになる 小テスト5点(レースやシャボン玉、雲などの透け感のあるアートを作成)				⑩ (6/28)	【到達目標】 コンテストのテーマに合わせたデザイン画を描くことができるようになる 小テスト10点(テーマに合わせたデザイン画を作成)			
③ (5/10)	【到達目標】 コンテストで華やかさをプラスするトールペイントアートができるようになる 小テスト5点(グラデーションローズアートを作成)				⑪ (7/5)	【到達目標】 デザイン画をもとにアートを作成することができるようになる			
④ (5/17)	【到達目標】 オンライン クリアカラーのグラデーションをベースにマーメイドネイルができるようになる 小テスト5点(5枚1セットのアートチップを作成)				⑫ (7/12)	【到達目標】 コンテストのテーマに合わせたアートパーツを作ることができるようになる			
⑤ (5/24)	【到達目標】 コンテストでメインアートを引き立たせる背景アートができるようになる 小テスト5点(クリアカラーを使用し、夜景やビルなどのアートを作成)				⑬ (7/19)	【到達目標】 オンライン 時間内にコンテスト用のアートチップを完成させることができるようになる			
⑥ (5/31)	【到達目標】 ジェルでのたらし込みの技法を覚え、奥行きのある海を描くことができるようになる 小テスト5点(たらし込みでビーチ風アートを作成)				⑭ (8/23)	【到達目標】 テーマに合わせたアートチップを完成させ、プレゼンテーションができるようになる			
⑦ (6/7)	【到達目標】 フルーツなどのカラフルで明るいアイテムを立体的に描くことができるようになる 小テスト5点(立体的なフルーツ柄アートを作成)				⑮ (9/6)	【定期試験】50 コンテストデザインのアートチップを時間内に作成する			
⑧ (6/14)	【到達目標】 コンテストで目を引く独創的な動物などのメインアートを描くことができるようになる 小テスト5点(動物の毛並みの質感をリアルに出したアートを作成)				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
●忘れ物をしない ●授業前までに道具の準備、テーブルセッティングを済ませておく					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	フェイシャルスキンケア	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師 プロフィール	短大卒業後、国産化粧品会社に入社。ビューティーコンサルタントとして百貨店にて勤務。退職後は市内専門学校で講師として勤務。スキンケアの授業を担当。 現在は国産スキンケア化粧品会社で商品研修担当として勤務している。						
【授業を通じての到達目標】									
プロのBAに必要なスキンケアの知識、業界動向、お客様へのご紹介方法、タッチアップ法、フェイシャルケア技術を習得する。また店頭を想定して立ち振る舞い、言葉遣いなどお客様に支持していただけるBAを目指す。									
【学習内容】									
①1年次に引き続きスキンケア知識を身に付ける②ご紹介ロープレとタッチアップ③店頭活動を想定したフェイシャルケア									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ティッシュ・コットン・エプロン・スキンケア教材一式・スパチュラ・フェイスシールド・エタノール・水差し・タオル・筆記用具・ノート・ミ									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 フェイシャルスキンケアオリエンテーション。この授業における目標設定。1年次のスキンケア授業の総復習				⑨ (6/22)	【到達目標】 外部実習。スキンケア化粧品購入			
② (4/27)	【到達目標】 クレンジングの違いを理解する。クリーム、ジェル、オイルの違いを自らの肌で実感する				⑩ (6/29)	【到達目標】 マッサージの効果を理解し、セルフフェイシャルマッサージの手順を習得する。取れん化粧水の効果を理解する。ハンドマッサージテクニックの習得。			
③ (5/11)	【到達目標】 クレンジングの違いを理解する。クリーム、ジェル、オイルの違いを自らの肌で実感する				⑪ (7/6)	【到達目標】 店頭活動を想定し座っているお客様へのローションマスク→マッサージを行えるようになる。			
④ (5/18)	【到達目標】 (オンライン授業)①外部実習スキンケアリサーチ。各自業界動向をリサーチし販売購入実習に備える。②紫外線がお肌に及ぼす影響を理解する。紫外線防止アイテムの業界動向を知る				⑫ (7/13)	【到達目標】 店頭活動を想定し、スキンケア→マッサージ→マスク→ハンドマッサージまでの流れを行えるようになる。			
⑤ (5/25)	【到達目標】 パック・マスクの種類、効果を理解する。自身の肌で実感しお客様に適切なパック・マスクをご紹介できるようになる。(ピールオフ)				⑬ (7/20)	【到達目標】 (オンライン授業)定期試験シナリオ作成。定期試験に向けて各自シナリオを作成し定期試験に備える			
⑥ (6/1)	【到達目標】 パック・マスクの種類、効果を理解する。自身の肌で実感しお客様に適切なパック・マスクをご紹介できるようになる。(シート)				⑭ (8/24)	【到達目標】 店頭活動を想定し、スキンケア→マッサージ→マスク→ハンドマッサージまでの流れを行えるようになる。			
⑦ (6/8)	【到達目標】 パック・マスクの種類、効果を理解する。自身の肌で実感しお客様に適切なパック・マスクをご紹介できるようになる。(ジェル)				⑮ (9/7)	【定期試験】50 店頭活動を想定し、スキンケア→マッサージ→マスク→ハンドマッサージまでの一連の流れをスムーズ且つBAに必要なホスピタリティーを意識しながら行える。時間管理の徹底			
⑧ (6/15)	【到達目標】 外部実習ディスカッション。スキンケア購入商品をディスカッションで決定する。積極的なリサーチとディスカッションを行う				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
積極的に実習に取り組む。忘れ物自己申告。									

講義シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで奮闘。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マネージャーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定、エアプランメイク等の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
サービス接客検定3級合格を目指す。サービス接客実務について初歩的な理解をする。基本的なサービスに必要な知識を身につける。更に社会人に必要なビジネスマナーの基本を身につけ、社会人への準備をする。									
【学習内容】									
サービス接客検定3級 基本的なサービスの知識(専門知識、一般知識他)、接客者に求められている対人技能(身だしなみ、話し方他)、ビジネスマナーの基本を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
サービス接客検定3級(公式テキスト・実問題集) 筆記用具					検定合格を目指して、自身で覚える工夫をする。宿題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 サービス接客検定の概要、ビジネスマナーの必要性を理解する。授業内容を理解し、自身の目標の確認。				⑨ (6/22)	【到達目標】 サービススタッフの資質 必要とされる要件を理解し、明るさ・適切な表現・身だしなみを身につけることが出来るようになる			
② (4/27)	【到達目標】 サービス接客検定 サービススタッフの資質について理解する				⑩ (6/29)	【到達目標】 サービススタッフの資質 必要とされる要件を理解し、良識を持ち、素直な態度が取れる。適切な行動・感情のコントロールについて理解する			
③ (5/11)	【到達目標】 サービス接客検定 サービス知識(意義・機能・種類)について理解する				⑪ (7/6)	【到達目標】 接客の基本を標準装備する 顧客心理を理解し、マナーを発揮することが出来るようになる			
④ (5/18)	【到達目標】 <オンライン>サービス接客検定 接客用語・言葉遣いについて理解する				⑫ (7/13)	【到達目標】 問題処理 クレームをチャンスに変えるについて理解する			
⑤ (5/25)	【到達目標】 サービス接客検定 対人技能・実務技能について理解する				⑬ (7/20)	【到達目標】 <オンライン>一般知識 サービスに関わる用語・行事について理解する			
⑥ (6/1)	【到達目標】 サービス接客検定 対人技能・実務技能について理解する (検定6/5)				⑭ (8/24)	【到達目標】 所作 名刺交換・座席順・エレベーターマナーなどについて理解する			
⑦ (6/8)	【到達目標】 サービス接客検定を受けて振り返り 今後の自身の課題を把握する				⑮ (9/7)	【定期試験】60 サービス接客3級・社会人基礎力 これまでの授業で身につけた知識をペーパーテストで			
⑧ (6/15)	【到達目標】 自身のプロデュース イメージアップに繋がる丁寧な挨拶(表情・笑声)が出来るようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る									

講義シラバス

科目名	化粧品検定	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	演習	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで著与。その間に化粧品検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアアの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模範面接などを担当。						

【授業を通じての到達目標】

化粧品検定2級合格を目指す
皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得する

【学習内容】

化粧品検定3級(自分の知識を正す)・2級範囲(自分はキレイになる)の知識を習得

【使用教科書・教材・参考図書】

化粧品検定2級・3級対策テキスト(コスメの教科書) 筆記用具
ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

検定合格を目指し、自身で覚える為の工夫をする。宿題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/21)	授業内容の理解し、自分自身に目標の確認。 間違えがちな美容知識を学ぶ、今日からすぐに実践できる知識を習得する クレンジング・洗顔の基本を理解する	⑨ (6/23)	メイクアップの基本テクニックを知り、検定における手順と肌悩みに応じた化粧品の使い方 肌を劣化させる様々な要因(外敵要因・内因要因)を理解する
② (4/28)	化粧水・乳液/クリーム/美容液の基礎知識 間違えがちな肌悩みの対処法/スペシャルケアに関する疑問 日焼け止めの基本を理解する	⑩ (6/30)	紫外線が肌にも与える影響 種類・紫外線量、日焼け止めの選び方を理解する □
③ (5/12)	メイクアップの基本～ヘアケアの基本手や爪の特徴/日本・海外の化粧品の違いについて理解する <3級検定資格試験の合格を目指す>	⑪ (7/7)	化粧品効果的なマッサージの必要性と方法 身体の生理作用と美肌作りのための生活習慣がもたらす効果の理解をする (睡眠/食事・飲み物/運動/入浴)
④ (5/19)	<オンライン>皮膚の構造:断面図で皮膚の成り立ち/皮膚のしくみと働きを理解する □	⑫ (7/14)	<化粧品検定2級検定試験>
⑤ (5/26)	真皮のしくみ/皮膚の機能 肌タイプ・季節と肌乾燥の原因とお手入れを理解する□	⑬ (7/21)	<オンライン>化粧品検定を振り返り、自身の苦手箇所と今後の課題を理解する
⑥ (6/2)	肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ ニキビ/毛穴の種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解する□	⑭ (8/25)	3級・2級内容総復習 苦手箇所を理解し、復習する
⑦ (6/9)	肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ シミ/くすみの種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解する□	⑮ (9/8)	【定期試験】50 化粧品検定2級これまでの授業で身につけた知識の確認
⑧ (6/16)	肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ くま/しわ/たるみの種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解する□	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る			

講義シラバス

科目名	カウンセリングメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	演習	2年生		
講師名	若杉晴香	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校トータルビューティ科卒業。MACにてBA経験を積み、化粧品品の販売接客、メイクアップの経験を積む。退職後フリーランスでヘアメイクに転身し、ブライダルを中心としたヘアメイクの活動をしている。化粧品検定1級、コスメコンシェルジュの資格を保有し、多くの化粧品の知識を持つ。						

【授業を通じての到達目標】

お悩みやご要望に合わせた化粧品選びとメイクアドバイスができるようになる。メイクの知識、技術を学び、幅広いご提案ができるようになる。現場を想定したクイックチェンジメイクを中心に相モデルでメイクができるようになる。

【学習内容】

様々なブランドや種類の化粧品の中から適切な化粧品の選び方を学ぶ。タッチアップしながら使い方やメイク方法のレクチャー。販売促進に繋がるコスメの魅力的なご紹介手法とおすすめの仕方を学ぶ。百貨店にて化粧品購入体験を通し、実際の接客を体験する。

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式、個人用教材、筆記用具、iPad

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/22)	オリエンテーション。この授業の内容と目的確認。新教材の研究。新教材を使用したメイクデモンストレーションを見て使い方を学ぶことができる。	⑨ (6/24)	購入検討アイテムを実際に化粧品カウンターへ行き様々なブランドを見てくる。接客やお色のご紹介方法を実際に体験し、カウンセリング方法を学ぶことができる。
② (5/6)	肌悩みに合わせたベースづくり。コントロールカラーの効果と学び、カウンセリングで肌悩みに合わせた色選びとタッチアップができるようになる。	⑩ (7/1)	化粧品購入体験。百貨店へ行き、化粧品購入体験を通してお悩みやご要望に合わせた接客方法を学ぶことができる。
③ (5/13)	パーツバランスによる印象分析ができるようになる。ゴールデンプロポーション、遠心、求心による印象の違いを知り、補正メイクができるようになる。(アイメイク、シェーディング、ハイライト)	⑪ (7/8)	購入した製品に合わせたメイクルックを考え、1つの製品から様々なパターンのメイクを提案することができるようになる。
④ (5/20)	【オンライン授業】肌悩みに合わせた化粧品選びとメイク方法。ベースメイクで考えられるお悩みをピックアップし、解決する化粧品選びとメイク方法を知ることができる。自分の肌悩みに合わせてご提案内容を考えセルフメイクで再現することができる。	⑫ (7/15)	季節に合わせたメイクのご提案。2021年の夏のトレンドをリサーチし、お客様へトレンドのメイクをご提案できるようになる。(相モデルでのタッチアップメイク)
⑤ (5/27)	骨格、パーツでのお悩みに合わせて化粧品選びとメイクの方法をご提案できるようになる。骨格やパーツごとのお悩みをピックアップし、お悩みを解決するメイクアドバイスとタッチアップができるようになる。	⑬ (8/26)	【オンライン授業】季節に合わせたメイクのご提案。秋に向けて考えられるお悩みに合わせてベース選びと2021AWTトレンドをリサーチし、セルフメイクで再現することができる。
⑥ (6/3)	3点タッチアップ実習。クイッククレンジングを習得し、現場を想定してメイクチェンジを行うことができるようになる。	⑭ (9/2)	お悩みに合わせた化粧品選びとメイクのご提案をしメイクアップができるようになる。
⑦ (6/10)	3点タッチアップ実習。クイッククレンジングを習得し、現場を想定してメイクチェンジを行うことができるようになる。探しに来た商品からその他の製品ご紹介へ繋げるカウンセリングやタッチアップ方法を習得することができる。	⑮ (9/9)	【定期試験】50 お悩みに合わせた化粧品選びとメイクのご提案をし、メイクアップを行う。
⑧ (6/17)	【到達目標】 ①色選びのカウンセリング実習。購入製品が決まっていなくてもパターンを想定したカウンセリングとロールプレイ実習。②お色選びの接客を実際に体験するため、グループに分かれて購入アイテムのリサーチをする。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

美容業はお客様のお手本となり常に求められる職業であることから、授業中の姿勢や笑顔、立ち居振る舞い、言葉遣いを心掛ける。忘れ物は小テストよりマイナスとする。また、相モデル練習の際に迷惑、危険を及ぼす可能性のあるスカルプネイルやまつエクはご遠慮ください。コロナウイルス感染防止対策において衛生管理の徹底をすること。

講義シラバス

科目名	コスメ研究	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	新井 梨沙	講師 プロフィール	自身のトータルビューティサロンを営みながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・企業セミナー・職業訓練等、美容教育に携わる。資格と経験を生かし技術・接客・経営・ライフワークに至るまで全てに特化したトータルビューティの授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
化粧品の特徴と使い方を理解し、化粧品を選び自身のテクニックとして使えるようになる。また商品をご紹介できる様になる。それを文章化しコスメ・美容記事を書けるようになる。									
【学習内容】									
化粧品の知識を深め正しく理解し化粧品の選び方、ブランド特徴、メイクテクニックを身につけて紹介できる様になる。また美容関連記事作成ができるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具、鏡、いつも使っている基礎化粧品、筆記用具、雑誌、はさみ、のり					指定された項目のコスメリサーチ				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/22)	【到達目標】基礎化粧品についての知識を深め大切さを知る事ができるようになる。 基礎化粧品の正しい使い方、知識を身につける				⑨ (6/24)	【到達目標】コスメのさまざまなブランドの奥深さを学び理解し伝えることができるようになる。 コスメのブランドコンセプトや歴史について学び、理解することができる。			
② (5/6)	【到達目標】下地やファンデーションの効果や使い方について比較研究し理解する事ができる。 下地、ファンデーションの種類を知り使えるようになる。				⑩ (7/1)	【到達目標】コスメの様々な色彩、色彩が与えるメイクについて学びテクニックに取り入れる。 色彩とイメージメイク・コスメについて学び、知識を習得する。			
③ (5/13)	【到達目標】色々なブランドの発色の仕方や質感、使い方を理解することができるようになる。 アイシャドウ、アイライナーの種類を知り使えるようになる。				⑪ (7/8)	【到達目標】北海道のコスメを知り理解しご紹介ができるようになる。 北海道にコスメについての知識を深めることができるようになる。			
④ (5/20)	【到達目標】まつげの理想のデザインや色々な作り方、まつげの化粧品を理解し使える。 ビューラー、マスカラ、つけまつげの種類を知り使えるようになる。				⑫ (7/15)	【到達目標】好きなメイクとコスメを運動させた画像・デザイン画を完成させる。 コスメ・メイク撮影 デザイン画作成ができるようになる。			
⑤ (5/27)	【到達目標】メイクのイメージやその方にあった眉の色や形を研究し理解し使用できる。 アイブロウ商品について知り使えるようになる。				⑬ (8/26)	【到達目標】自分の感性を自由にカラーージュ作品にすることができるようになる。 コスメとメイクのカラーージュ作成ができるようになる。			
⑥ (6/3)	【到達目標】チークの入る位置や形を理解しメイクのイメージに合わせたチークを選び使用する。 チークの種類を知り使えるようになる。				⑭ (9/2)	【到達目標】適切な言葉を使用し美容コラムを作成することができるようになる。 メイクとコスメの美容コラム作成ができるようになる。			
⑦ (6/10)	【到達目標】似合う色、メイクのイメージに合わせたリップを選び使えるようになる。 リップ、グロス、リップライナーの種類を知り使えるようになる。				⑮ (9/9)	【定期試験】50卒業制作作品を発表・コスメを適切に伝えることができるようになる。 プレゼンテーションの実践が出来るようになる。			
⑧ (6/17)	【到達目標】トレンドメイクをして使用コスメの特徴や使い方の美容記事を作成することができる。 トレンドメイク コスメのレビュー作成が出来るようになる。				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導 作品の完成度									

講義シラバス

科目名	トータルセールス・マネー	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	演習	2年生		
講師名	浅沼 和恵	講師 プロフィール	国産化粧品ブランドと外資系商品ブランドでBAとして経験を積み、札幌ベルエポック開校時よりBAに直結した授業を担当。現在も現役BAとして活動している。						
【授業を通じての到達目標】									
商品販売話法から、販売会計時の様々な計算や、実務的に必要な数字の計算を理解し、即現場に立てる力をつける。									
【学習内容】									
販売接客のシーンから、商品紹介話法・クロージング・会計を中心に学ぶ。実務に必要な売り上げ管理などの数字の計算を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 販売会計時に必要な消費税の計算、割引計算を学ぶ。①				⑨ (6/22)	【到達目標】 お客様のご要望・お悩みに合わせた商品話法を考える。③(ファンデーション)			
② (4/27)	【到達目標】 販売会計時に必要な消費税の計算、割引計算を学ぶ。②				⑩ (6/29)	【到達目標】 お客様に最適な商品を紹介するために、カウンセリングができる。(聞く方法)			
③ (5/11)	【到達目標】 販売会計がスムーズにできるようになる。(商品販売ロープレ)				⑪ (7/6)	【到達目標】 お客様のご要望・お悩みに合わせた下地クリームとFDを魅力的に紹介できる。			
④ (5/18)	【到達目標】 (オンライン授業) 魅力的な商品話法を作るために必要な、悩み・要望をまとめる。 (クレンジング・FD・アイブロウ・マスカラ)				⑫ (7/13)	【到達目標】 クレンジングミルクを紹介するために、効果的なカウンセリング方法を考える。(質問の仕方) お客様のご要望・お悩みに合わせた商品話法を話せる。			
⑤ (5/25)	【到達目標】 実務に必要な売り上げ管理を理解し、売り上げを分析できる。①				⑬ (7/20)	【到達目標】 (オンライン授業) またご来店いただくために出来ることを考える。(接客の工夫・サンプリング)			
⑥ (6/1)	【到達目標】 実務に必要な売り上げ管理を理解し、売り上げを分析できる。②				⑭ (8/24)	【到達目標】 お客様のご要望・お悩みに合わせて、魅力的にクレンジングミルクを紹介し販売できる。(クロージング、会計まで)			
⑦ (6/8)	【到達目標】 お客様のご要望・お悩みに合わせた商品話法を考える。①(ポイントメイク製品)				⑮ (9/7)	【定期試験】50 お客様のご要望・お悩みに合わせて、魅力的にクレンジングミルクを紹介し販売できる。			
⑧ (6/15)	【到達目標】 お客様のご要望・お悩みに合わせた商品話法を考える。②(下地クリーム)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
姿勢・所作・言葉遣いを常に意識する。忘れ物の管理不十分者は小テストから減点する。									

講義シラバス

科目名	ベルコン	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	浅沼 和恵	講師 プロフィール	国産化粧品ブランドと外資系系商品ブランドでBAとして経験を積み、札幌ベルエポック開校時よりBAに直結した授業を担当。現在も現役BAとして活動している。						
【授業を通じての到達目標】									
今まで学んだメイク技術とプレゼンテーション力をコンテストで発揮する。自分を魅力的にプロデュースする。									
【学習内容】									
様々な課題に合わせたメイクの提案・実技・プレゼンテーションを学ぶ。コンテストの評価項目でもある、BAらしい表情・言葉使い・立ち居振る舞いを身に付ける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
					8月31日 ベルコンテスト学内選考予定				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 ベルコンテストの目的、課題を理解する。3分間スピーチの文章構成を習得する。				⑨ (6/21)	【到達目標】 自分の個性を魅力的に表現できる、コンテストメイクを完成させる。			
② (4/26)	【到達目標】 テーマのMACアイパレット、Diorアイパレットを研究し活用方法を見つける。				⑩ (6/28)	【到達目標】 紹介コスメを決定する。メイクコンセプトにコスメを取り入れたシナリオを作成する。			
③ (5/10)	【到達目標】 テーマもアイシャドウからメイクのイメージを広げる(キュート・エレガントメイク)メイクのポイントの説明する。				⑪ (7/5)	【到達目標】 提出用のメイクシートを完成させる。プレゼンテーションのシナリオを作成する。			
④ (5/17)	【到達目標】 (オンライン授業) お気に入りコスメを魅力的に紹介する。(ベースメイク編・ポイントメイク編)				⑫ (7/12)	【到達目標】 プレゼンテーションのシナリオを完成させる。表情・姿勢・発声を意識して発表する。			
⑤ (5/24)	【到達目標】 テーマのアイシャドウからメイクのイメージを広げる(フレッシュ・クールメイク)メイクのポイントの説明する。				⑬ (7/19)	【到達目標】 (オンライン授業) ベルコン札幌大会に向け、魅力的なプレゼンテーションを完成させる。			
⑥ (5/31)	【到達目標】 自分の個性を分析する。印象アップと印象チェンジのメイクコンセプトを考えシートに落とす。				⑭ (8/23)	【到達目標】 ベルコン札幌大会に向け、最終確認をする。(リハーサル)			
⑦ (6/7)	【到達目標】 テーマのアイシャドウを使用して、自分の印象アップメイクを表現する。メイクポイントを説明する。				⑮ (9/6)	【定期試験】50 テーマのアイシャドウを使用しセルフプロデュースしたメイクと使用コスメをBAらしく魅力的に紹介する。			
⑧ (6/14)	【到達目標】 テーマのアイシャドウを使用して、自分の印象チェンジメイクを表現する。メイクポイントを説明する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
姿勢・所作・言葉遣いを常に意識する。忘れ物の管理不十分者は小テストから減点する。									

講義シラバス

科目名	スタイリスト演習	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社ダディックファッション代表。 TV・CM・タレントのスタイリスト&ヘアメイク、企業ではイメージカウンセラーとして活動している。						
【授業を通じての到達目標】									
スタイリスト、ファッションアドバイザーなど、ファッション業界で活躍するプロとして、トレンドの情報収集に励み、自分自身のセルフプロデュース及び、他者のプロデュースを説得力ある提案で表現、発信できるインフルエンサーを目指す									
【学習内容】									
自分自身、他者にトータルスタイリング(ファッション、ヘアメイク、ネイル)を施し、野外、屋外での撮影を通し、スタイリング力、提案力、発信力を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具、裁縫道具、									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】小テスト3点 今後の授業内容を確認し、プロのなる心構えを持ち自主的に計画を立てることができる オリエンテーション。今後の授業の確認と撮影に向けてグループの決定と撮影に向けてのコンセプトと必要な準備計画の立案※(スケジュール、準備物、役割分担など)				⑨ (6/23)	【到達目標】小テスト4点 達成させる目標の設定により、モチベーションを維持し、最後まで妥協せずやり遂げる自身が持てるようになる 屋内撮影のグループ決定と撮影までの計画案(スケジュール、準備物、役割)の提出			
② (4/28)	【到達目標】小テスト3点 計画実行に対して進捗状況を確認し、課題解決に取り組む事ができる。 撮影用のイメージ決定と衣装の下見、ロケハンも同時に実施し、次の計画準備に移る				⑩ (6/30)	【到達目標】小テスト4点 グループワークで積極的に課題に取り組むことができる 屋内撮影用の衣装の選定とスタイリング計画、イメージ、コンセプトの案出し			
③ (5/12)	【到達目標】小テスト3点 立案した計画を自主性と協調性をもって取り組む事ができる 撮影用衣装の購入とアレンジ製作をグループ毎に計画に基づいて進行させる				⑪ (7/7)	【到達目標】小テスト4点 計画案に基づいた必要な材料の選定と調達、スタイリングの全体の構図を決定 モデルのイメージに合うスタイリングテクニックを生かすことができる			
④ (5/19)	【到達目標】小テスト3点 収集したトレンド情報のリアルクローズ提案ができる オンライン授業。2021年SSトレンド研究から、世代別のスタイリングをイラスト提案 撮影用の小物デザインも考案する				⑫ (7/14)	【到達目標】小テスト4点 各自で取り組める製作物等を決定し、翌週のオンライン授業で進行出来る様に計画に進めることで自主性を身につける			
⑤ (5/26)	【到達目標】小テスト3点 決められた役割を主体性を持って積極的に取り組む事ができる。 衣装のリメイク・アレンジをグループ毎に、進捗状況を確認しながら製作する				⑬ (7/21)	【到達目標】小テスト4点 オンライン授業。撮影に関わる事前に決めた個人の製作物の製作を通して 責任感をもち達成感を持つことができる。			
⑥ (6/2)	【到達目標】小テスト3点 対相手の立場になり、自分の考え、思いが伝わる方法を発見し提案することが出来る スタイリング、ポージングを決定し、モデルとカメラマンにイメージとコンセプトをわかりやすく伝わる方法を考え提案する				⑭ (8/25)	【到達目標】小テスト4点 トータルスタイリング、構図、ポージングのセルフのリハーサル撮影し、事前の確認を通して、プロ意識を高める事ができる			
⑦ (6/9)	【到達目標】小テスト3点 リハーサルを通して問題発見、課題解決の能力を発揮することができる スタイリング、ロケーション、構図を最終決定し、セルフでリハーサル撮影の実施				⑮ (9/2)	【定期試験】50 外部モデルの屋内撮影予定。自己満足ではなく、他者モデルを魅力的にプロデュースし、ご満足いただけることでプロとしての自覚と意識を高めることができる			
⑧ (6/16)	【到達目標】小テスト4点 撮影を通して、男女問わず、他者へのスタイリング力が身につく、プロとしての提案ができるようになる 外部モデルの野外撮影予定。取り組んできた成果を100%発揮する				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業の取り組み、事前準備、管理など自主性をもって積極的に行動する									

講義シラバス

科目名	フェイシャル演習 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	藤村 麗	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業。CIDESCO国際エスティシャン。エステティックの実務を10年。フェイシャルトリートメント/ボディトリートメント/各トリートメントメニューの作成/脱毛/カウンセラーを行ってまいりました。実際の現場で通用するスキルを皆さんに身につけてもらえるように努めます。						
【授業を通じての到達目標】									
技術力・知識を向上してAEA上級試験に合格出来るようになる。									
【学習内容】									
フェイシャルエステの基本手技、実技授業(フェイシャルエステの一連の流れ・コンサルテーションなど)									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
プリント、エステ教材一式(教科書含む)、タイマー									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 オリエンテーション シラバス・スケジュールの確認、今後の準備をしてスムーズに授業が出来るようになる。				⑨ (6/23)	【到達目標】 AEA上級試験内容が時間内で出来るようになる。① ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、整肌5分 (小テスト7)			
② (4/28)	【到達目標】 クレンジング・マッサージ6手技の復習を行い、一連の流れが時間内(25分)で出来るようになる。				⑩ (6/30)	【到達目標】 AEA上級試験内容が時間内で出来るようになる。② ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、整肌5分 (小テスト8)			
③ (5/12)	【到達目標】 正しい手順、時間内(25分)でクレンジング・マッサージを行い、肌分析が出来るようになる。 【小テスト1】				⑪ (7/7)	【到達目標】 AEA上級試験内容が時間内で出来るようになる。③ ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、整肌5分 (小テスト9)			
④ (5/19)	【到達目標】 肌分析知識を学び、身につけ、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。【小テスト2】 ※オンライン授業なので各自所持しているシートに記入する。				⑫ (7/14)	【到達目標】 AEA上級試験実施。 ・試験当日 授業内で試験実施			
⑤ (5/26)	【到達目標】 クレンジング・マッサージの復習、時間内(25分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。① 【小テスト3】				⑬ (7/21)	【到達目標】 Ajesthe上級試験の内容の確認、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。 【小テスト10】 ※オンライン授業なので各自所持しているシートに記入する。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 クレンジング・マッサージの復習、時間内(25分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。② 【小テスト4】				⑭ (8/25)	【到達目標】 定期試験に向けた総復習 ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、整肌5分、パック15分 苦手箇所を各自見つけて克服する。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 クレンジング、マッサージ、拭き取りの復習、時間内(30分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。① 【小テスト5】				⑮ (9/8)	【定期試験】50点 ・実技 50点 誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、整肌5分、パック15分 口頭試験			
⑧ (6/16)	【到達目標】 クレンジング、マッサージ、拭き取りの復習、時間内(30分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。② 【小テスト6】				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ボディ演習 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	川口奈美	講師 プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時に札幌ベルエポックで講師を務める。CIDESCOインターナショナルエステティシャン。日本エステティック協会認定講師。認定衛生管理者。協会認定試験官。AEAインターナショナルエステティシャン。AEA認定講師。AEA登録試験官。日本エステティック試験センター登録試験官。AEA認定試験アンバサダー。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとして必要なボディ実技理論、ボディ機器技術を取得する。 また、ボディコンサルテーションに必要な知識と瘦身理論、ボディ分析技術を取得する。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・AEA上級認定試験に合格できるボディ実技理論とコンサルテーション技術を取得する ・コンサルテーションに必要なボディ分析技術を取得する ・ボディマッサージの技術と理論を取得する 									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
① ベビーパウダー、ポリ袋 ② 電卓、メジャー、色ペン、AEA「皮膚科学」					・悩み別のホームケアアドバイス				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/22)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を取得する 「生活状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑨ (6/24)	Ajesthe認定上級試験対策としてコンサルテーションに必要なボディ分析技術を取得する 1ページ目の記入が出来るようになる			
② (5/6)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を取得する 「健康状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑩ (7/1)	Ajesthe認定上級試験対策としてコンサルテーションに必要なボディ分析技術を取得する 2ページ目の記入が出来るようになる			
③ (5/13)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を取得する 「食生活」その他の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑪ (7/8)	ボディ機器「G5」の技術と理論を取得する 目的効果、禁忌、留意点を取得する 下肢背面の施術が出来るようになる			
④ (5/20)	【オンライン授業】 AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を取得する 「ホームケアアドバイス」の項目のアドバイスが出来る				⑫ (7/15)	ボディ機器「G5」の技術と理論を取得する 腰背部の施術が出来るようになる			
⑤ (5/27)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を取得する 「体型の状態」を正確に表記し最適なプラン立てが出来る				⑬ (7/22)	【オンライン授業】 ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を取得する 目的効果、禁忌、留意点を取得する アフターカウンセリングが出来るようになる			
⑥ (6/3)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程を施術できる				⑭ (8/26)	ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を取得する 下肢の施術が出来るようになる			
⑦ (6/10)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程施術と口頭試問に対応できる				⑮ (9/2)	【定期試験】50 実技試験 筆記試験			
⑧ (6/17)	AEA上級認定試験に合格する				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	脱毛	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	川口奈美	講師 プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時に札幌ベルエポックで講師を務める。CIDESCOインターナショナルエステティシャン。日本エステティック協会認定講師。認定衛生管理者。協会認定試験官。AEAインターナショナルエステティシャン。AEA認定講師。AEA登録試験官。日本エステティック試験センター登録試験官。AEA認定試験アンバサダー。						

【授業を通じての到達目標】

- ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験におけるワックス脱毛試験に合格する
- ・サロン現場で人気メニューである「脱毛」の基礎知識を習得し、現場力を高める

【学習内容】

- ・美容脱毛実技理論を学び、脱毛の基礎知識を修得する。
- ・基本的なワックス脱毛技術を習得する。

【使用教科書・教材・参考図書】

新エステティック学－技術編 I
AEA⑮美容脱毛学
AEA⑱美容脱毛実技理論

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/22)	数ある脱毛法の中でのワックス脱毛の位置付けと、その特徴を理解する ワックス脱毛の禁忌事項を覚える	⑨ (6/24)	Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術で下腿部前面を仕上げる
② (5/6)	脱毛に必要な衛生管理、施術上・施術前の注意事項を覚え、準備が出来る	⑩ (7/1)	Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術で下腿部後面を仕上げる 口頭試問に対応できる
③ (5/13)	ワックス脱毛の基本的技術手順を学び、習得する (消毒～ペーパーを剥がす) ワックス剤の基本的な取り扱いを習得する	⑪ (7/8)	Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術で下腿部を規定時間内に仕上げる 口頭試問に対応できる
④ (5/20)	「オンライン授業」 アフターケアの必要性と重要性を理解し、説明できるようになる。 脱毛用化粧品の各アイテムの目的効果、成分を覚え、効果的に使用出来るようになる	⑫ (7/15)	Ajesthe上級認定試験 ワックス脱毛実技試験(下腿部)に合格する
⑤ (5/27)	脱毛技術に必須である毛流の見極めが出来るようになる 効率的なワックス脱毛の手順を習得する	⑬ (7/22)	「オンライン授業」 発毛のしくみ、毛周期について修得し口頭試問に対応できる
⑥ (6/3)	下腿部・前面の効率良い施術を行うためのワックス塗布の順序を覚える	⑭ (8/26)	試験対策として、手際良い施術で規定時間内に仕上げる 口頭試問に対応できる
⑦ (6/10)	膝頭、足指の施術手順、スパチュラの使い方、ペーパーの使い方を習得する	⑮ (9/2)	(定期試験)50 ワックス脱毛実技試験(下腿部) 口頭試問
⑧ (6/17)	下腿部・後面の効率良い施術を行うためのワックス塗布の順序を習得する	【成績評価の方法と基準】	
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	ボディ演習 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	川口奈美	講師 プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時に札幌ベルエポックで講師を務める。CIDESCOインターナショナルエステディシャン。日本エステティック協会認定講師。認定衛生管理者。協会認定試験官。AEAインターナショナルエステディシャン。AEA認定講師。AEA登録試験官。日本エステティック試験センター登録試験官。AEA認定試験アンバサダー。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとして必要なボディ実技理論、ボディ機器技術を習得する。 また、ボディコンサルテーションに必要な知識と瘦身理論、ボディ分析技術を習得する。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・AEA上級認定試験に合格できるボディ実技理論とコンサルテーション技術を習得する ・コンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する ・ボディマッサージの技術と理論を習得する 									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
① ベビーパウダー、ポリ袋 ② 電卓、メジャー、色ペン、AEA「皮膚科学」					・悩み別のホームケアアドバイス				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/22)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する 「生活状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑨ (6/24)	Ajesthe認定上級試験対策としてコンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する 1ページ目の記入が出来るようになる			
② (5/6)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する 「健康状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑩ (7/1)	Ajesthe認定上級試験対策としてコンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する 2ページ目の記入が出来るようになる			
③ (5/13)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する 「食生活」その他の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑪ (7/8)	ボディ機器「G5」の技術と理論を習得する 目的効果、禁忌、留意点を習得する 下肢背面の施術が出来るようになる			
④ (5/20)	【オンライン授業】 AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する 「ホームケアアドバイス」の項目のアドバイスが出来る				⑫ (7/15)	ボディ機器「G5」の技術と理論を習得する 腰背部の施術が出来るようになる			
⑤ (5/27)	AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する 「体型の状態」を正確に表記し最適なプラン立てが出来る				⑬ (7/22)	【オンライン授業】 ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を習得する 目的効果、禁忌、留意点を習得する アフターカウンセリングが出来るようになる			
⑥ (6/3)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程を施術できる				⑭ (8/26)	ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を習得する 下肢の施術が出来るようになる			
⑦ (6/10)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程施術と 口頭試問に対応できる				⑮ (9/2)	【定期試験】50 実技試験 筆記試験			
⑧ (6/17)	AEA上級認定試験に合格する				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									